

話 題

義肢装具研究同好会発足

本年春の第5回リハビリテーション医学会の際の有志の話し合いがきっかけとなって、義肢装具の問題に関心をもつ医師、PT、OT、義肢装具製作者、さらには工学者をも含めた広い層の研究と啓発の会として義肢装具研究同好会が発足し、すでに以下の会合がもたれた。

第1回研究会（全国）：7月21日神戸で、神戸大整形沢村・村田両氏が世話人となって“義肢・装具を発展させるために障害となっている問題とその対策について”の主題で

ひらかれ、教育、技術者の資格、法制上の問題点、病院付属義肢部門、価格、情報交換等々の問題について活発な討論があった。

第2回研究会（全国）：10月27日岡山で岡山大整形武智・明石両氏が世話人となってひらかれ、“義肢装具工の資格”“身障センターの機能と身障福祉法”の2大テーマにしばって討論がおこなわれ、また特に早大理工学部加藤一郎教授の人間工学についてのお話があった。

第1回関東部会：11月14日、

東大構内で、東大整形山内、同リハセンター上田の世話人でひらかれ、稗田正虎先生から“義足の問題点”の講演および活発な討論があった。

なお、第3回全国会は昭和44年5月26日（リハビリテーション医学会の次の日）、都市センターホールで開催の予定（世話人 東大 上田・山内）。また、関東部会はほぼ毎月第2木曜に行なわれる予定である。

（上田）